

# 千葉大学医学部附属病院で 高異型度漿液性癌と診断された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年8月5日

放射線科

放射線科では、「高異型度漿液性癌における相同組換え修復欠損の有無によるCTでの画像的特徴の検討」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2020年1月1日～2024年4月30日の間に婦人科で高異型度漿液性癌と診断され、HRD検査（がん細胞が正常にDNAを修復できるか調べる検査）を実施された方

## 1. 研究課題名

「高異型度漿液性癌における相同組換え修復欠損の有無による

CTでの画像的特徴の検討」

## 2. 研究期間

2024年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

## 3. 研究の目的・方法

今回の研究の目的は、高異型度漿液性癌と診断された症例を検討し、相同組換え修復欠損（HRD）の有無による画像的特徴を明らかにすることです。治療開始前のCTの画像的特徴とHRD検査の結果を統計的に解析します。本研究によって画像的特徴が同定できれば治療反応性の予測を画像検査で非侵襲的に行えるようになる可能性があります。

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

2020年1月1日～2024年4月30日までの診療録に記載されている病歴、CT結果、血液検査結果、病理結果、HRD結果

## 5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：放射線科 准教授 横田 元

## 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院放射線科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

## 7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

放射線科 准教授 横田 元

043（222）7171 内線 6300